

# 洛友會報

京都市左京区吉田本町  
京都大学工学部  
電気工学科教室内  
友 会

## 初秋隨想

京大名譽教授・工博  
大正6年卒会長代行

松田長三郎

鳥養会長には自宅にて御静養中のところ老衰のため九月二十四日午後九時八十九才の天寿を全とうして安らかに御永眠されました。御葬儀は二十六日南禅寺北ノ坊町光雲寺に於て厳かに取りおこなわれました。先生の御逝去を悼み御冥福をお祈り申し上げます。

□お彼岸も近づいて来て、朝晩はめっきり冷やかになりました。大暑い日が少なかつたようですが、東北・北海道方面は冷害で、今秋の収穫が心配されています。しかし8月24日頃は随分暑くて、冷房のため、東京電力では二五〇〇万千瓦Wの空前のピーク・ロードと聞きました。しかし今、節電が強調されている折柄でありますから、できるだけ無駄な電力を使はないように留意したいもので、オフィス

などでも、あまり暗くもないのに、昼間、電灯をつけ放しの所が多い。電力料金は今般、各電力会社とも、不十分ながら値上げの査定がありました。折角値上げしてもらつても、石油が3割も値上げされるような気運では、又々のため、東京電力では二五〇〇万千瓦W、関西電力では一六〇〇万千瓦Wの性能、コンピューターによる火力統制装置、電波妨害および対電波妨害装置、マッハ3以上の超音速に耐える機体の材質組成、積載ミサイルの破壊力、射程距離等

とつては、現在の食糧やエネルギー事情は誠にありがたいこと感謝していますが、平素から、物を粗末にしない心掛けが大切だと思います。

□食糧問題と云えば、今、国内の政局混亂のため、あまり一般には関心が薄いようですが、最近米国で行はれた海洋法会議（沿岸200海里占管水域）、日米漁業交渉など、今後の我国の食糧事情に重大な影響のあることありますから、十分警戒する必要がある。我が国は四面環海で、動物性蛋白質は、魚類に負ふ所が甚だ大で、米は年産一二〇〇万トン、水産は一〇〇〇万トン、この内、他国の沿岸200海里の水域で獲っているのが四五〇万トン（この大部分は米国・ソ連沿岸）と云はれますから、これが制定された暁には、我が国にとっては、この水域では、いちいち、許可を受けた上、入場料を払はねばならぬといふまことに厳しい条件を、米国はつけてきていましたが、折角値上げの査定がありましたが、折角値上げしてもらつても、石油が3割も値上げをせざるを得ないことになりましよう。これからは、エネルギーや食糧が、一層深刻な問題となる。この機について、大きな関心を持たれていることは、レーダー

□近頃大きな問題が国内、国外で、相次いで起つてある。国政の混迷停滞・政治の空白は誠に困ったことです。こんな折もあり、ソ連のミグ25戦闘機の「幽館空港強行着陸は、正に青天の霹靂である。「鴨がネギでなく、ダイヤモンドを積んでやつて来た」と、ニュースは報じたが、ソ連の誇る最新鋭の幻の戦闘機が、突如として我国に飛来したのであるから、世界中を湧き立たせた。我国の防空態勢も、期せずして、虚を衝かれた恰好である。こういう秘密兵器に對しては、その研究開発製作に、5兆円もかかるそうであるから、あらゆる手を尽してその機密を探り出そうとしている由。

それにもしても、我国は、米ソの板ばさみで、苦しい立場にあるが、私共には、こういう外交上の難問は閑知する所ではないが、この機の技術的成果に興味を覚える。この機について、大きな関心を持つたれることは、レーダーの性能、コンピューターによる火力統制装置、電波妨害および対電波妨害装置、マッハ3以上の超音速に耐える機体の材質組成、積載万何千トンのタンカーが、真ツ二つに切斷した事故があつた。老朽船とのことであるが、時々起こる事故らしい。私は45年位前に、十一月頃ドイツの誇る最快速蒙華客

□台風とか地震とか、我国はこの種の天災を受けることが多い。今回の台風17号は、近來稀な大規模の台風であり、しかも各地に大変な豪雨をもたらし、河川の氾濫、山崩れ、地すべりなど、多数の尊い人命を失い、農作物家屋、河川道路等、有形無形に莫大な損害を与えた。こういう災害は、大なり小なり、毎年毎年繰り返されて、中央・地方の公共事業費は巨額に上っている現状である。台風の発生は、相当前から予知されるのであるから、発生の当初にその芽を潰してしまう方法は無いものであろうか。今の處、原子力による以外は無さそうであるが、これは公害になるおそれが多くある。今後大いに研究してほしいものである。

この台風に際して、大分沖で5万何千トンのタンカーが、真ツ二つに切斷した事故があつた。老朽船とのことであるが、時々起こる事故らしい。私は45年位前に、十一月頃ドイツの誇る最快速蒙華客

船オイローパ号（五万トン）で、ロンドンからニューヨークへ北太西洋を航海したが、相当のシケインパルスにちがいないが、それこそ大船に乗った気持ちで、些か大船に乗った気がなかった。かって山陰沖で、演習中の駆逐艦の艦体が切斷して大きな問題になったことがあるし、飛行機が空中分解して大惨事を起したことでもあった。しかし精密な設計、精選された材料、手を抜かない入念の造船機械技術からすれば、こういうことは、先づ無い筈である。科学技術の責任は重い。

□お彼岸は故人を偲び冥福を祈るときもある。亡くなつた人は、靈は、一体どこに行っているのであろうか。今世界人口は40億を超えている。刻々には生れ、人は死んで行く。生れた人の将来は、無限の可能性を含めて、未知数であるが、死んだ人の、この世に残した事績は、大小は別として、何かの形で残つて行く。人の評価は、棺を蔽うて後、定まるといふが、近頃、私はここ数十年來の間に、世界を動かしたような人達を、なくなつた中共の毛沢東などもその

一人であるし、蔣介石も亦、第二回世界大戦当時の巨頭の一人であつたし、殊に敗戦当時の「恨みに酬ゆるに徳を以てす」との布告は忘ることはできぬ。ヒトラーがまだ政権をとらない以前、私は在独中、無蓋の自動車上の彼を見たし、度々彼の演説を聞いたことがあるが、世界制覇の夢破れて一九四五年五月、刻々周囲に迫る砲煙彈雨の中、柏林陥落の寸前に、總統府の地下壕で、数時間前に結婚したばかりの新婚の夫人とともに自殺し、予て用意させておいたガソリンで火葬させて、辛うじて捕虜を免れた。又三国同盟の一翼を担いた伊太利のムッソリーニも、一時は大変な国民的英雄視せられたが、敗色濃くなるに及んで、夫妻共に捕えられて銃殺され、屍体はミラノの広物で、公衆の面前で逆さにつるされて、屈辱の最後を遂げた。この耻を見たことがある何れも英雄の末路、淋しい限りである。連合国側では、先程の蔣総統初め、大立物は何と云つても、米のルーズベルト大統領であり、戦争終結

□お彼岸は故人を偲び冥福を祈るときもある。亡くなつた人は、靈は、一体どこに行っているのであろうか。今世界人口は40億を超えている。刻々には生れ、人は死んで行く。生れた人の将来は、無限の可能性を含めて、未知数であるが、死んだ人の、この世に残した事績は、大小は別として、何かの形で残つて行く。人の評価は、棺を蔽うて後、定まるといふが、近頃、私はここ数十年來の間に、世界を動かしたような人達を、なくなつた中共の毛沢東などもその

が、その後、評価は変転して、そ

るかのようと思はれた。

係もあつて、一代で巨万の富を築いた人達が多く出て来た。以前は

百万長者をミリオネアと云つたが、今はその千倍のビリオネア（十億）と呼ばれている。最近に一人廟を訪れ生けるようなレーニンを見たことがある。チャーチルは第二次世界大戦を評して「無用の戦い」と言つたが、四〇〇〇五年五月、刻々周囲に迫る砲煙彈雨の中、柏林陥落の寸前に、總統府の地下壕で、数時間前に結婚したばかりの新婚の夫人とともに自殺し、予て用意させておいたガソリンで火葬させて、辛うじて捕虜を免れた。又三国同盟の一翼を担いた伊太利のムッソリーニも、一時は大変な国民的英雄視せられたが、敗色濃くなるに及んで、夫妻共に捕えられて銃殺され、屍体はミラノの広物で、公衆の面前で逆さにつるされて、屈辱の最後を遂げた。この耻を見たことがある何れも英雄の末路、淋しい限りである。連合国側では、先程の蔣総統初め、大立物は何と云つても、米のルーズベルト大統領であり、戦争終結

□去る九月某日、伊勢松阪に本居宣長翁の記念館を訪れ、この偉大な国学者の往昔を偲んだ。その膨大な筆写、研究資料、古事記伝等、更にまた有名な鈴の屋（僅か四畳半の狭い室）を見て感嘆に堪えなかつた。夜と言えば僅かにあんどの暗い灯影で、丹念に筆写、研究された刻苦勉強の跡を偲んで、今は螢光灯、書物雑誌は意く保ち得た最後の政治家であつた。スター・リンはソ連を、現在の大國にのし上げに首相であった。スター・リンはソ連を、現在のままにゼロックスで複写できる

□去る九月某日、伊勢松阪に本居宣長翁の記念館を訪れ、この偉大な国学者の往昔を偲んだ。その膨大な筆写、研究資料、古事記伝等、更にまた有名な鈴の屋（僅か四畳半の狭い室）を見て感嘆に堪えなかつた。夜と言えば僅かにあんどの暗い灯影で、丹念に筆写、研究された刻苦勉強の跡を偲んで、今は螢光灯、書物雑誌は意く保ち得た最後の政治家であつた。スター・リンはソ連を、現在の大國にのし上げに首相であった。スター・リンはソ連を、現在のままにゼロックスで複写できる

## 吉住永三郎教授を迎へて

台湾肥料公司  
昭和5年卒

朱江淮

□去る九月某日、伊勢松阪に本居宣長翁の記念館を訪れ、この偉大な国学者の往昔を偲んだ。その膨大な筆写、研究資料、古事記伝等、更にまた有名な鈴の屋（僅か四畳半の狭い室）を見て感嘆に堪えなかつた。夜と言えば僅かにあんどの暗い灯影で、丹念に筆写、研究された刻苦勉強の跡を偲んで、今は螢光灯、書物雑誌は意く保ち得た最後の政治家であつた。スター・リンはソ連を、現在の大國にのし上げに首相であった。スター・リンはソ連を、現在のままにゼロックスで複写できる

□去る九月某日、伊勢松阪に本居宣長翁の記念館を訪れ、この偉大な国学者の往昔を偲んだ。その膨大な筆写、研究資料、古事記伝等、更にまた有名な鈴の屋（僅か四畳半の狭い室）を見て感嘆に堪えなかつた。夜と言えば僅かにあんどの暗い灯影で、丹念に筆写、研究された刻苦勉強の跡を偲んで、今は螢光灯、書物雑誌は意く保ち得た最後の政治家であつた。スター・リンはソ連を、現在の大國にのし上げに首相であった。スター・リンはソ連を、現在のままにゼロックスで複写できる

□去る九月某日、伊勢松阪に本居宣長翁の記念館を訪れ、この偉大な国学者の往昔を偲んだ。その膨大な筆写、研究資料、古事記伝等、更にまた有名な鈴の屋（僅か四畳半の狭い室）を見て感嘆に堪えなかつた。夜と言えば僅かにあんどの暗い灯影で、丹念に筆写、研究された刻苦勉強の跡を偲んで、今は螢光灯、書物雑誌は意く保ち得た最後の政治家であつた。スター・リンはソ連を、現在の大國にのし上げに首相であった。スター・リンはソ連を、現在のままにゼロックスで複写できる

加になり、はるばる日本から台湾を御訪ねになりましたが、終戦後台湾で母校からの先生を御迎へしたのは、鳥養前総長と松田名譽教授と吉住教授の三人がありました。が、此度の吉住教授を通して、母校の近況を御伺ひ出来たことは誠に喜びに堪えません。

回顧すれば小生は昭和五年に母校を卒業したのであります。在学中は各位先生の御薰陶を受け、就中故藤信義先生には卒業論文の指導を受けて卒業はしたもの、當時は恰かも不景氣のどん底にあり、就職の非常にむつかしい時機でした。幸い故青柳栄司先生の格別なる御世話で、半官半民の

台湾電力会社に入社することが出来ました。當時台湾電力会社の設備容量は僅か三万五千KW位しかなかったが、第一次歐洲大戦後の不景気と、東京大震災の影響を受けて工事停止中の日月たん発電工事が、昭和五年に復工され、二万KW五台、合計十万KWの第一発電所と、一五四KV送電線

が、昭和八年に完成され、台湾工業化の道が開かれました。一面逐次に全島の群小電灯会社を合併統一し、終戦前の最大装置容量は、約三万KWに達したが、戦争中の空爆で、可成りの損害を受け、終戦直後は、三万三千KW位しか

後復旧工事や、拡張工事が積極的に進められたので、現在の総設備容量は約五三〇万KWに達し、その最大「ユニット」は、火力では五〇万KW、水力では九万KWになつて居り、送電線路に於いては、従来の一五四KVの他に、互

長三三〇KWの三四五KVの超高压線路が出来て居り、資本金も二〇〇億元（一元は約八円、約五・三億美元）の世界有数の大会社となりました。

小生は一九七一年、台湾電力公司董事（取締役）から、同じ国営事業である台湾肥料公司（資本金三三億元）董事長に転職し、今年七月末日に引退して、該公司の高

司董事（取締役）から、同じ国営

事業である台湾文化經濟協会（会長三三億元）董事長に転職し、今年の何応欽將軍（終戦時の中華人民共和国總長）の幹事長を兼ねて

居ります。目下中日間の外交関係は断れて居るが、彼我両国は、同文同種の民族であり、國文孫父先生が言われた様に、「中國あつての日本であり又日本あつての中國」である密切なる間柄でありますので、両者の関係は絶対に断たれないものがあります。従つて今

後我らは、一層両国会の親善を計り、且つ文化交流と経済合作の促進を行ひ、殊に青年層の人事交流と留学生交換を通じて、東洋の倫理道德の思想を復興させて、目下の頗廢した社会空氣の挽回に、御

互い協力して努力して行き度いものと考へて居ります。

以上吉住教授の御來華の機会を期して、同窓各位に小生の思想を披瀝して皆様方の特別な御指教と御援助方を御願い出来れば誠に幸甚の至りに存じます。

私はここ数年来、週に2回は市内の温水プールに泳ぎに出かけることにしてゐる。水泳は心身の健康のために好適なスポーツである。特に年輩者にとっては、その理由とするところを挙げてみよう。

1、全身の運動であつて特定の一部分を強く使うようなことがない。水泳では捻挫や骨折は絶対にない。

2、急速な応動を必要とせない。年輩者には急速な応動は無理である。スロー、バット、ステ

3、他人に迷惑をかけず独りで楽しむことが出来る。この点についてはマラソンや体操も同様であるが、楽しむという点では水泳が優ると考へる。という點は、

4、フォームを楽しむことが出来る。年輩者にとっては体力の関係上速度を競うことは無理であつて、無駆のない泳ぎ方を考える。従つてフォームを楽しむことになります。

以上吉住教授の御來華の機会を期して、同窓各位に小生の思想を披瀝して皆様方の特別な御指教と御援助方を御願い出来れば誠に幸甚の至りに存じます。

5、年をとつても、若い者と競つて完全に勝つ可能性のあるスポーツである。極端な例を云うと、屈強の若者と雖も泳げないものであつても、あれはこちらは年寄りであつてもこれに完勝すること間違ひなしである。

6、年をとつても、若い者と競つて完全に勝つ可能性のあるスポーツである。バタフライ泳法は水を縫うよう

に体をくねらして泳ぐのであるが、足で水を強く蹴つて体を水面に浮かして吸氣をすると同時に両手を水面上に抜き上げて前方に繰り出す。両手で水を一気にかいて一週期を終るのである。

手がかき終ったとき最大速度が出るが、このとき体は浮き上り、

## 水 泳 雜 考

応用科学研究所理事長  
昭和6年卒業

吉 田 洪 二

私はここ数年来、週に2回は市内の温水プールに泳ぎに出かけることにしてゐる。水泳は心身の健

康のために好適なスポーツである。特に年輩者にとっては、その理由とするところを挙げてみよ

1、全身の運動であつて特定の一部分を強く使うようなことがない。水泳では捻挫や骨折は絶対にない。

2、急速な応動を必要とせない。年輩者には急速な応動は無理である。スロー、バット、ステ

イ泳法は一番エネルギーの要るむ

その相当な部分は水面上にある。

このことは最大速度のとき水に対する抵抗が最小になっているので、速度を出すという点からはまだ合理的である。また、クロール泳法が片手づつを以ってかくのに比べて、バタフライ泳法では両手を以ってかくので大きなエネルギーを瞬時に前進のために注ぎ込めるわけである。

それだけではない。両手で水をかく利点は水を逃さないことである。クロール泳法のように片手づつで水をかく場合には、例えば右手でかくときは水は左に逃げる。左手でかくときは右に逃げる。両手をそろえてかくときは水を確実にキャッチすることが出来る。

しかししながら、バタフライ泳法は体を水面上に浮かせることに大きなエネルギーを費すため現在に於ては速度の点に於てはクロール泳法に劣っているが、この点については一考の必要があるように思う。

200メートル競技について世界記録をたどって見よう。1952年に於てはクロール泳法とバタフライ泳法との差は2.7秒(クロール泳法で2分4秒)であった。

最近ではその差は9秒に迄縮つた。この伸び率で進むと仮定する

と今後数年で両者の記録は一致する勘定となる、このようにバタフライ泳法を改良すればまだ記録は向上し、やがてクロール泳法に追いつく可能性があるよう思えるがどうであろうか。

日本古来の水泳術に浮身がある。これも楽しいものである。海水では容易であるが、温水プールではややむつかしい。両手両足を延して、仰向きに水面に浮くのを枯木浮きという。手を水面上に出す程足先が浮いてくる。ちょっと不思議に思われるが腰が支点となる。天秤のように平衡を保とうとするからである。全身の緊張をほぐして無念無想でないと永く浮き続けるのが困難である。よい精神修養になる。プールで座禅ならぬ寝禅を楽しんでいる。

卒業してから、既に東京生活35年なり、この間東京近郊の山をたんねいに歩いてきた。殊に家が吉祥寺にあり、奥多摩の山々、秩父山系、丹沢系と交通の便がよく2~3時間で登山口まで行ける所が多い。主として日帰りの範囲で計画したものが多く又、山は一〇〇〇m前後のものが多い。装備も重いリュックサックに重い靴と走ることも出来ないようなものでなく、タオルに腰弁当、かんピールに果物と言った至極軽装備で出かける場合が多い。この限りではハイキング程度かも知れないが富士登山も入っているので山歩きと言はせて貰います。これらの中で御岳、高雄山、大山の3山が好きで登った数も多い。何れも歴史の古い神社が頂上にあり自然環境もよく、路も整備されている。近年会

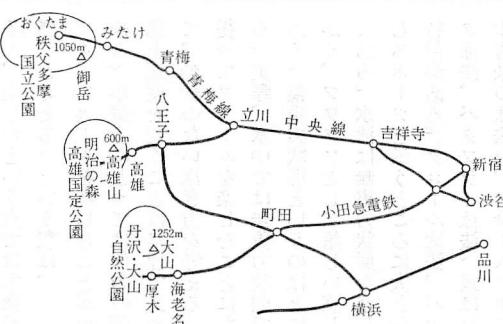
## 東京近郊の山歩き

東芝電気工業  
昭和16年3月卒業 神崎淳一



社は土休制を採用しているので一日遊び廻っても疲れを残すこともなく都合がよいので最近は朝天気さへよければ毎週でも山歩きすることにしている。上記三山をマスターしておれば歩く山の選択に困ることなく気軽に出かけることが出来る。これで私の健康も維持出来ているので三山のガイドを書いて私の責務を果させて貢います。

卒業してから、既に東京生活35年なり、この間東京近郊の山をたんねいに歩いてきた。殊に家が吉祥寺にあり、奥多摩の山々、秩父山系、丹沢系と交通の便がよく2~3時間で登山口まで行ける所が多い。主として日帰りの範囲で計画したものが多く又、山は一〇〇〇m前後のものが多い。装備も重いリュックサックに重い靴と走ることも出来ないようなものでなく、タオルに腰弁当、かんピールに果物と言った至極軽装備で出かける場合が多い。この限りではハイキング程度かも知れないが富士登山も入っているので山歩きと言はせて貰います。これらの中で御岳、高雄山、大山の3山が好きで登った数も多い。何れも歴史の古い神社が頂上にあり自然環境もよく、路も整備されている。近年会



昔の甲州街道の通路に当り史蹟も多い。標高600mの頂上には奈良時代に行基によって開かれたところである。総走路の尾根は甲斐の境にあたり甲州方面との交通の要所小仏峠には北条氏が武田氏に対する防衛線を張って監視所を設け富士関と呼んだが後に小仏峠となり箱根や礁冰と並ぶ関所に数えられた所である。

さてケーブルカーの起点清滝の右側の登山路の入口に東海道自然道入口の碑が建っている。この登山路は中腹位まで舗装されており楽に登つてゆくことが出来る。一時間でケーブルカーの終点駅に到達出来る。この辺から新宿の超高層ビルを一望に眺めることが出来る。反対側は山の重疊の眺めがよく新緑紅葉と何時でも見えたことがある。ここから平坦な道を立派な杉並木の間を通り薬王院に参拝し、三十分位で関八州の眺望台に達することが出来る。ここより尾根づたいに東海道自然道を約一時間半程にて城山の眺望台に到達することが出来る。ここからの相模湖の展望は壯観であるばかりでなく、三六〇度の眺望が広く都心より四時間位の距離でこのように素晴らしい光景が得られる所は少ない

と思つてゐる。さてさらに歩きた  
い時は約一時間で景信山に達し、  
次の二時間で明王寺に至り、ここ  
より更に前進すれば陣馬山へ、左  
に行けば相模湖へ下つて行ける。  
この相模湖への下り路は中々の難  
路であるがゆつくり下つてゆけば  
一時間位で甲州街道沿いの神社に  
到達出来る。陣馬山に向つた場合  
も陣馬高原を通り和田峠をへて八  
王子方面に下ればやがて八王寺行  
きのバス停に到達することが出来  
る。

さて高雄山の登山路は中腹の自  
然研究路を合せて六本の道があり  
その組合せにより色々な山歩きの  
道が出来るのである。これは昔か  
ら薬王院の寺領として保護された  
自然環境のたまもので四季折々の  
変化に富んでおり植物の種類も多  
く、且野鳥の種類も多く遠足には  
絶好のコースと言える。

次にケーブルカーの左側の登山  
路、これは第六研究路と言つてい  
るもので別名「水と森の路」と言  
はれており、ゆるやか谷間にそつ  
た山路のコースで道巾はせまいが  
傾斜がゆるく、登り易い然も自然  
を満喫出来るコースと思つてい  
る。登山口から十五分位で枇杷滝と  
言ふ小さな滝に到達する、ここは  
修驗者が滝に打たれて冥想にふけ  
る所である。現在は有料で誰でも  
滝つぼの中に入ることが出来る。

登山路にそった名間には魚がおり、草群には珍らしい植物、昆虫が多く、樹林には野鳥がさへずついる。それで路に迷ふ心配もなき登山と言へば大仰であるが静かに自然を味いつつ所々に建っている動物、植物の説明の立札をみて楽しく登つて行くことが出来る。中腹から路なぎ谷間の道となり谷間の石づたいの道を通つて階段道に入り約一時間あまりで関八州の見晴台の位置に到達することが出来る。次に昔からの登山路の一つで今は殆ど通る人のない道がある。これは国電高雄駅から高雄山に向つて甲州街道を約二十分程歩くと登山口の道標がある。草むした道で自然を楽しむには好都合である。

以上地理的にみた登山路について書いたが今度は四季による変化を求めてみる。新緑や紅葉の高雄は素晴らしいものと誰しも思い興味もわくと思うが高雄山の初詣も興味のあるものである。

今年の正月初詣を思いたら朝早くと言つても家を出たのが7時前、清流の登山口に着いたのが8時頃であつたが東海自然道の道幅五~六mが帰りの初詣の人でいっぱいであり、然も見通しのきく二〇〇~三〇〇mは人の列を作つている光景をみて驚いた次第である。冬でも雪が積つてゐるわけではなく、天気さへよければ登山出

春には梅が咲き、続いて桜を楽しむ。若葉、青葉を楽しみ、秋は紅葉を愛でその間、野鳥や鶯のさえづりを楽しむことが出来る。

登山路と季節の組合せで色々の登山方法があり自然を楽しむのみでなく神詣により何がさわやかな気持にもなることが出来る次第である。

御岳、奥多摩山系の入口にあり、然も標高一〇〇〇mあり、山頂にある御岳神社は慶長十一年徳川家康が造営したものであるが、それより以前、天平年間に崇神天皇七年に藏王権現が祭られたと言はれる歴史あるもので、早くから門前町が開けていた。又日本七大野鳥棲息地の一つに数へられる豊かな自然環境地である。交通の便は立川から青梅線が出ており便利が多い。殊にシーズンには奥多摩号と言う快速電車が出ており新宿から一時間余りで御岳駅に到着することが出来る。御岳駅から登山口のケーブルカー駅(滝本)までバスもあるが、御岳駅前から直ぐ摩川の河岸に下りると舗装した遊歩道がある、これを河の上流に向つて約一km河の清流を眺めながら歩いてゆく、この辺は有料釣場になつて

ており景色もよく快適である、間もなく吊り橋がある。これを渡つて向い岸に上ると御岳登山口に至る舗装道に出てくる。これより坂道を二十分程行くと登山口に達する。歩くのが一つの目的である。ケーブルカーは駿遠して登山口に立札のある大木の杉（樹令五〇〇年とある）に出会い、鳥居をくぐつて登山道に入つてゆく。この表参道の杉並木は四〇〇～五〇〇年クラスの大杉が立派に立並んでおる。これだけの環境を作るには少くとも二〇〇～三〇〇年の年月が必要であることを思へば自然環境の保護の大切であることを痛感する。これだけの環境を作るには少くとも二〇〇～三〇〇年の年月が必要であることを思へば自然環境の保護の大切であることを痛感する。すると同時に歴史の重みを感じる。見事な杉並木の参道が約一時間程走り、山頂の神社に達する。ここから御岳神社の長い石段の参道に至り山頂の神社に達する。ここからの眺望は言うまでもなく素晴しく汗を流して登った甲斐があつたと何度登っても感じる次第である。頂上から裏参道を下るコースは多摩川上流の鳩の巣に下りるコースで、更に足を延せば奥多摩湖に行くことが出来る。又頂上から日の出山まで尾根づたいに歩いて吉野梅郷に下りるコースも面白く殊の梅の咲く頃は何とも快適なハイキングコースとなる。

大山(雨降山) 丹沢山塊の東南端にあり小田急伊勢原駅より見れば丹沢山系の前方にぱつりと立つたあまり高いとは思はれない山が大山である。標高一二五〇mあり、低い山ではないが背後に一六〇mの丹沢山があるので左程高い山とは見えないのかも知れない。伊勢原駅から大山行のバスにて約二十分程でケーブルカー駅(追分駅)に到着する。例により歩いて登ることにする。追分駅を右に見てしばらく行くと男坂と女坂の分岐点に出る。どちらを取っても、たいした違いはないが、女坂の方が気持だけでも楽なようである。約一時間程で阿夫利神社(下社)に到達する。この神社は崇神天皇の御代の創建と言はれ、古来海運、漁業、農産、商工業、酒造の神と言はれ、関東一円の信仰を集めている。成田山信勝寺と、対比されるものである。大山の頂上には阿夫利神社奥社があり、そこまでは、下社から二十八丁の登山道が続き、一丁目毎に石の標柱が立つており登山の標識には誠に都合よく出来ている。途中かなりの間、石塊の難路があるがゆつくり登れば苦痛なく登山出来る。約一時間半位で頂上奥社に到達する。山頂からの眺めは東南に相模平野から房総、三浦半島、北側は丹沢の屋根から富士山、箱根の連

山、秩父連山、更には南アルプスが見える。頂上から東の方、雷峰の方に下り、日向薬師に出る路が近く、日向薬師に参拝して、そこからバスにて二十分程で伊勢原駅に到着する。山頂から西の方ヤビ

京都大学ヘリオトロン核融合

研究センターの設置について

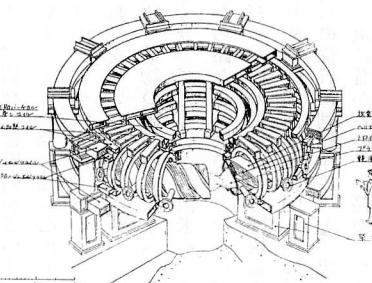
昭和27年卒業

この研究センターは、ヘリオトロン・高温プラズマ実験装置による核融合に関する実験的研究、およびこれに関連する教育・研究を行なうために、昭和51年5月10日、本学に設置された。

温プラズマ実験装置であって、昭和4年秋には運転を開始する予定

が命名したのである

現用されているエネルギー源の大半は、化石燃料（石油、天然ガス、石炭など）であるが、その資源が限られており、また偏在しているために、いわゆるエネルギー問題が起る。この問題を解決するためには、太陽、潮汐、風および地熱などのエネルギーを利用することも考えられているが、現在、



## 強磁场ヘリオトロンE高温炉による実験装置本体観念図

各国が最も力を入れてしているのは原子核エネルギー（いわゆる原子力）の利用である。原子核エネルギーを利用してする方法には、核分裂炉（いわゆる原子炉）として、すでに実現している。後者が核融合炉として実現

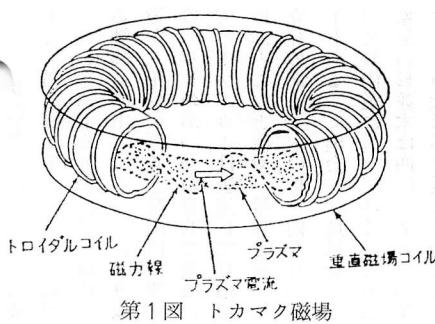
は、昭和45年に開始され、ヘリオトロンD装置による実験炉トロンが、核融合炉に要求される基本的条件を満足し得る装置であるとの見方を支持する特色ある成果が得られた。この研究成果に基づいて、さらに大型のヘリオトロンE装置を建設し、格段に研究および教育を進めるため、超高温プラズマ研究施設を基礎として、新たに、「ヘリオトロン核融合研究

教授の尽力により昭和41年、工学部に「超高温プラズマ研究施設」が設置され、研究の中心は同施設に移り、今日に至った。この間、ヘリオトロンA、B、CおよびD装置による一連の実験が行われ、基礎研究は大いに進展した。

は、昭和33年、理学部および工学部を中心として全学的に組織された「ヘリコングループ」によって、研究が開始された。このグループの名前は、ギリシャ神話に太陽の神アポロが住んでいたと伝えられるヘリコン山にちなんで、命名されたものである。本教室の林重憲教授により昭和1年、工芸

されるまでには、多くの問題が予想されるが、近年の研究成果によつて、次第に見通しが得られるようになってきている。

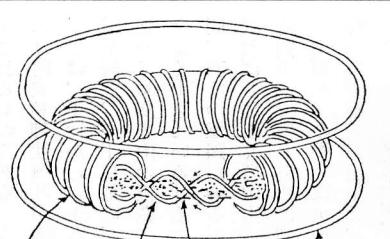
センター」が設置されたのである。この研究センターの定員は、現在のところ教授、助教授および助手、各3名、事務官、技官など5名、計14名である。



第1図 トカマク磁場

(1) 強力なレーザー光線などによつて、固体の重水素を照射する方法、および(2)重水素または重水素と三重水素の高温プラズマを磁場によって閉じ込める方法であると考えられており、各国は競つて研究開発を進めている。ヘリオトロップは(2)に属する。

はさらに磁場の形状によって、  
“軸対称型”（トカマク型）と  
“非軸対称型”（ステラーライタ型、  
ヘルオトロン型およびトルサトロ  
ン型）とに分かれる。



第2図 ヘリオトロンD磁場

という特長がある。  
エネルギー収支の面から核融合  
炉が成立するためには、"ローソ

の条件"の名で知られている次の二つの条件が満されねばならない。比較的に実現し易い、重水素と三重水素を燃料とする場合について言えば、その一つは、燃料を1億度以上の温度に加熱することである。このような高温では、物質は陽電気を帯びたイオンと、負に帶電した電子とに分かれ、プラズマの状態になってしまいます。いま一つの条件は、この高温プラズマを、一定密度で、一定時間閉じ込めることである。すなわち、1立方センチメートル中のプラズマ粒子数 $n$ と閉じ込め時間 $t$ (秒)との積、 $n \cdot t$ の値を $10^{14}$ 以上に保つことである。これらの条件を満足するプラズマを臨界炉心プラズマといふ。重水素のみを燃料とする場合には、ローソンの条件はもつと厳しくなる。

トカマク装置は、最初にソ連邦で作られたものであるが、米国、EC諸国および日本でも、大型装

## 洛友会報

らの条件"の名で知られている次の二つの条件が満されねばならない。比較的に実現し易い、重水素と三重水素を燃料とする場合について言えば、その一つは、燃料を1億度以上の温度に加熱することである。このような高温では、物質は陽電気を帯びたイオンと、負に帶電した電子とに分かれ、プラズマの状態になってしまいます。いま一つの条件は、この高温プラズマを、一定密度で、一定時間閉じ込めることである。すなわち、1立方センチメートル中のプラズマ粒子数 $n$ と閉じ込め時間 $t$ (秒)との積、 $n \cdot t$ の値を $10^{14}$ 以上に保つことである。これらの条件を満足する

プラズマ保持性能をもっているので最終的な炉の型式はヘリオトロボンになる可能性がある。ヘリオトロボンは陽電気を帯びたイオンと、負に帶電した電子とに分かれ、プラズマの状態になってしまいます。いま一つの条件は、この高温プラズマを、一定密度で、一定時間閉じ込めることである。すなわち、1立方センチメートル中のプラズマ粒子数 $n$ と閉じ込め時間 $t$ (秒)との積、 $n \cdot t$ の値を $10^{14}$ 以上に保つことである。これらの条件を満足する

プラズマを臨界炉心プラズマといふ。重水素のみを燃料とする場合には、ローソンの条件はもつと厳しくなる。

トカマク装置は、最初にソ連邦で作られたものであるが、米国、EC諸国および日本でも、大型装置が建設あるいは計画されて、最も研究が進んでおり、温度が約1千万度で、 $n \cdot t$ の値も、臨界炉心プラズマまで、あと1けたに迫っている。これに對して、非軸対称型の装置では、大型の装置がつくられなかつたためもあり現在まで、まだこのようないデータは得

## 研究室紹介

## 一般電気工学講座

本講座は、他の電気系教室の講座と少しき趣きを異にしているので、始めに講座について、若干の説明を加えておきたいと思う。

本講座は、昭和37年度に工学部に共通講座として創設された。これは、わが国工業の急速な発展、学生数の急増、電気系以外の学生の電気工学・電子工学に関する一般知識の必要性の増大等に対応するためである。

共通講座は、学部長に直属する性質のものであるが、共通講座(本講座を含めて7講座)間で、それぞれ専門が異なるところから、本学部では、学部学生の教育に関しては、共通科目を担当し、研究に関しては、各講座担任者の

手、大島助手、玉置技官である。学部学生の教育に関しては、講義科目として、一般電気工学A(物理系学科対象)、同B(化学系)、一般電子工学第一A(物理系)、同B(化学系)および一般電子工学第二があり、またこれらに伴なう学生実験として電気工学実験(電子工学を含む)を実施している。これらのいずれの科目も履修期間は半年であり、また、各学科とも選択になつていている。

右の教育を実施するに當つては、包含される分野が、電気工学、電子工学全般に亘り、また履習生数が多数であるので、電気系教室教官の援助を得て、教育の実があかるよう努めている。つぎに本講座の研究内容の主なものについて述べる。

本講座のスタッフは、浮田勇教授(昭17年卒)安陪助教授、藤戸助

授(昭17年卒)、従来の抵抗溶接、アーチ溶接の研究

られない。

しかし、ヘリオトロンは、上に述べたように、核融合装置として、トカマクとは違ったすぐれたプラズマ保持性能をもっているので最終的な炉の型式はヘリオトロボンになる可能性がある。ヘリオト

ロンEの設計目標値は、温度が1千万度、 $n \cdot t$ の値が $10^{14}$ ないし $10^{15}$ であつて、これをできるだけ早く実現し、基礎的研究の充実により、核融合研究の進歩に寄与することが、ヘリオトロンE計画の目的である。

ほかに、終戦直後導入された不活性ガスアーチ溶接、潜弧溶接に統いてエレクトロスラグ溶接、超音波溶接、拡散溶接さらには高密度

エネルギー源を使用するプラズマ溶接、電子ビームまたはイオンビーム溶接、レーザ溶接等の新しい溶接法が開発され、次第に広い範囲に実用化されつつある。

一方、最も普遍的である在來の抵抗溶接、アーチ溶接についても、近代の高速度、高精密性の要求から、溶接の自動化が進められ、最近では、惡環境でも溶接を可能にする溶接ロボットの登場を見つつある。

生産工程におけるシーケンス制御は別として、個々の溶接過程を制御するについては、溶接現象の複雑性の故に、高精密性の点で未だ必ずしも十分でなく、解決すべき基礎的事項が少なくない。本研究室では、現在次のような研究を進めている。

(1) 抵抗溶接過程の究明とその評価法に関する研究  
現在、溶接過程に与かる多くの条件を、経験的に得られた適正範囲内におさめるオープン制御とモニタ方式が行なわれている。しかし、溶接現象が複雑であるので、個々の条件を適正に制御しては必ずしも満足な溶接は得られない。重要なことは、総合的に溶接過程の適否を判定する量を見出すことである。そしてこれに基づいて、溶接中にフィードバック制御を行なうことが望ましい。

アーチ溶接においても、溶接過程ならびに溶接結果を左右する因子は極めて多い。自動アーチ溶接において、重要なことは、アーチ長をできるだけ短く一定に保つことである。特に高精密な溶接では、アーチ電流とアーチ長を設定値の1%程度の誤差内に収めることが要求される。

自動アーチ溶接において、アーチ長を一定にするためには、アーチ電圧を電極駆動モータにフィードバックする方法がとられている。しかし、單にこれだけでは不十分で、電極溶融に伴なう状態変化、交流アーチにおける再点弧などの場合には、電源の過渡特性が問題になり、さらに溶接進行に伴

なうアーケの移動等を考慮に入れ  
る必要がある。これらを包括した  
制業系の安定度と高精密制御法を  
追究している。

アナロケシミニアーミンに関する

する研究

工学上問題となる種々の物理系が偏微分方程式による場合には、一般に取り扱いが困難である。この種の系の解析を行うためには、電子計算機を用いたシミュレーションが有力な手段となつており、本研究室では古くからデジタル計算機あるいはアナログ計算機を用いたシミュレーションの手法について研究を進めってきた。デジタル計算機は計算処理、記憶および判断の能力において極めて優れた計算機であるが、取り扱う問題によつては不都合な場合も少くない。現在、本研究室では次の研究を進めている。

(1) 抵抗溶接の熱伝導シミュレーションに関する研究

抵抗溶接の分野で問題となる熱伝導問題の解析を行うには、急激に変化する内部発熱および種々の複雑な境界条件を考慮しなくてはならない。この種の熱伝導問題をデジタル計算機によって解析する場合には、境界条件の導入が困難であるとともに、数値解の安定

性が問題となること、計算に極めて長時間を要することなどの問題点がある。このため、熱伝導問題の解析に適した独自のアナログシミュレータを開発し、これを用いて、従来解析することが困難であった抵抗溶接部の温度分布の解明を進めている。

(2) 非線形特性のシミュレータとその応用に関する研究

アナログシミュレーションの特徴を生かして、従来から模擬することが困難であった種々の非線形特性のシミュレータの開発およびその応用について研究を進めている。最近の成果としては、磁気ステリシス特性のシミュレータを設計試作し、実際の磁性材料の特性をマイナーループにいたるまでかなり忠実に表現できることを示すとともに、このシミュレータを用いて可飽和鉄心を含む振動回路の解析を行ない、実験結果とよく一致した応答を得た。さらに、任意の非線形特性をもつ負性抵抗要素や非線形キャパシタンスなどを演算增幅器を用いて開発し、これらの要素を用いて構成した非線形振動回路について実験を進めてい る。

電動機制御に関する研究

パワーエレクトロニクスと称する分野の中でも電動機制御を対象とした応用技術の発展には目覚まし た。

いものがある。すなわち、サイリスタ等の半導体素子が電動機制御に応用され、静止電力変換装置による有効電力・無効電力の供給あるいは電力の返還が行なわれるようになった。

直流電動機制御では静止レオタード方式が従来のワードレオナード方式に代る代表的可変速度電動機として、ここ10年間に大きな進歩を遂げた。またSCRインバータあるいはサイクロコンバータの発達により同期電動機あるいは誘導電動機の可変速度運転が実用化されている。さらに静止セルビュース方式あるいはチャップルを用いた2次抵抗制御による誘導電動機の速応速度制御などが開発されている。

以上は現在における電動機制御へのサイリスタ応用であるが、さらに電動機のサイリスタ制御として、静止電力変換装置と電動機を組み合わせたものがある。昭和四十五年に情報工学科が創設され、当初まず二講座より出発したが、学年進行で次の昭和四十六年に本講座が発足し、矢島脩二教授（昭和三十一年卒）が就任、爾来、この講座を担当している。

組み合わせ、サイリスタ制御回路を構成し、サイリスタの動作回転位置、速度等によって各種の型の電動機を実現することが考えられ、定期回路のサイリスタを点弧し、交流周波数を回転周波数に一致させれば、これは一種の直流機となる。

本研究室では、この電動機の回転位置のみでなく速度もインバータ回路にフィードバックし、トルクあるいは効率等が最大となるよう回転速度に応じてサイリスタの動作を制御することにより、電動機の直巻、分巻あるいは複巻などの諸特性を得、またこれらの特性を制御することを考え、ある程度の成果を得つつある。

で、洛友会の先輩。会員諸氏・関連分野の諸氏に御理解と御鞭撻をお願い申し上げます。

本講座の構成員は、もとイリノイ大学に勤務していた上林弥彦助教授（昭和四十年電子工学科卒）、平石裕実助手（昭和四十八年電子工学科卒）および荻野博幸技官の計四名である。

なお、本年九月末まで吉田進助手（昭和四十六年電子工学科卒）が勤務していたが、十月一日より電子工学教室池上文夫教授の研究室に勤務している。

一 研究室で現在勉学研究している学生は、博士後期課程の三年と二年の二人が電気系の学生で、博士後期課程一年よりは情報工学専攻の学生となつており、博士後期課程は合計三名、修士課程は九名、学部は卒業のための研究等を行なつている学生が七名となつている。

これまで、ドイツ人の研究生や外部よりの研究員等もいたが、現在、ベトナムよりの留学生が一人故国を離れて勉学している。

講義としては、矢島教授が、学部においては論理回路第一と論理回路第二を、大学院においては、符号理論と論理回路特論を講義している。

上林助教授はグラフ理論を講義している。その他セミナーや学生

論理回路講座

伝統ある電気系の講座に比べ、ようやく満五年を経たばかりの新参講座である。情報工学の講座ではあるが、その性格上、電気系や数理工学の分野とも教育、研究上との関連が強い。そのようなわけ

部においては論理回路第一と論理回路第二を、大学院においては、符号理論と論理回路特論を講義している。

実験を受け持っている。

論理回路第一は情報三回生のみならず電気系の四回生にも配当されており、電気系よりも多数の受講生がいる。この講義では、計算機やデジタルシステムの基本の論理回路の分野においてその論理設計に重点をおいて講義を行なっている。

グラフ理論は、計算機に関係したシステムの表現やデータ構造等情報の各分野に応用されていると同時に用いられるグラフアルゴリズムは非数値解析的アルゴリズムとして、アルゴリズムの複雑さの理論の一部として重要な位置を占める。ここでは、グラフの基礎とアルゴリズムおよび情報への応用を中心で講義している。

大学院の講義は、一昨年より始まつばかりであるが、電気系や機械系の学生も熱心に聴講している。論理回路特論では、スイッチングおよびオートマトン関係の論理を、符号理論では、代数的な符号理論および計算機等でよく利用される符号等について講義している。

計算機や各種デジタル計測器、デジタル通信の符号器復号器等々の主体は論理回路によって構成されている。少し荒っぽいたとえになるが、電気関係の分野で

電気・電子回路にたるもののが、情報・計算機の分野での論理回路に当たる。

論理回路を含め、計算機の分野は近年急速に発展し、また発展しつつある分野であり、ソフトウェア、計算機援用の論理設計等々の進歩にもよるが、ハードウェア的には半導体エレクトロニクスによる論理回路の大規模集積(LSI)

I) 技術の発展に負うところが極めて大である。計算機のLSI化は益々進み、一方手のひらの上に乗るLSIマイクロコンピュータも誕生し、集積化計算機の時代に入り、その応用分野も超大型計算機から邦文タイプ、制御機器家電、玩具に到るまで急激に拡大しつつある。

また、オンラインTSSの計算機は更に通信と結びつき、計算機ネットワークを構成し、各種のデータベースの発展を促し、計算機化された知的財産が生まれつつある。

情報は何らかの符号で表現されることになるが、それはまた結果のところ論理回路によって処理される。論理回路は通常極めて単純な論理計算を行なう論理ゲートを多数個組合せてモジュールなりネットを作り、更にそれらを組合せながら構成していく。

そこで論理回路の学問分野とし

ては、このような回路の解析、合

成、合成可能性、最適設計、ゲートやモジュールを基礎とする設計、大規模集積化に適した実現手

法、またこれらを支える半導体技術、電子回路技術との関連、また

更に故障診断容易な回路、耐障害

システム、高信頼性回路に関する問題等々が重要となる。

さらに、これら論理回路を、情報とその論理計算処理という事の間に注目して、ハードウェアの制

約から解いて、抽象機械として取扱うことのできるものとして、オートマトン理論、これを機巧理論

と訳出したいところであるが、これが興味深いものとなってくる。

これらの基礎理論は論理回路の分野のみならず他の種々の分野でも活用できるように発展させたい

といふか、そのような可能性があると考えて、いくつかの試みを遂行している。

論理回路やオートマトン理論は離散的な数や量を扱うので、グラフ理論や組合せ理論等と深く関連しており、この分野の研究も欠くことができない。

1、論理回路およびオートマトン理論の研究

論理回路やオートマトン理論は適用してきたが、最近更にファ

イル理論への適用を行ない始めている。

効率の良いファイルの構成法と

しては、磁気テープに適した準一

連検索性やディスクに適したBト

リーチューナルデータベースの

解合合成についても研究中であ

る。これらの成果を実験する為、

の研究を行なっている。また順序論理回路関係では、可観測、可制御順序、有限記憶順序回路、有限

オートマトン間の距離、オートマトン関係の言語、プログラム形な

トワードの研究を行なっている。

またこれらの分野での研究教育

用ソフトウェアを後述の研究室計算機ネットワークを利用して開発しつつある。

2、グラフおよび組合せ論とそ

れらによるファイル理論の研

K) を利用して組合せ論は論理回路の配置、オートマトンの遷移

図、計算機システムの表現、ファイルの構成等

計算機科学の諸分野での応用がなされているが、同時に関係したアルゴリズムが計算機の基礎理論であるアルゴリズムの複雑さと関連しているという点

でも注目を集めている。研究室では、従来から論理回路やオートマトン理論へグラフおよび組合せ論

を適用してきたが、最近更にファ

イル理論への適用を行ない始めて

いる。

論理回路やオートマトン理論は

ACOMにつながる研究室計算機ネットワークLABOLINKの

P11/40を中心としたHITAC

8350、大型計算機センターフ

でも注目を集めている。研究室で

は、従来から論理回路やオートマ

トン理論へグラフおよび組合せ論

を適用してきたが、最近更にファ

イル理論への適用を行ない始めて

いる。

論理回路やオートマトン理論は

OOLINKはその主要回線に光

ファイバケーブルを使用しているほ

か、単線マルチコネクタ、二入出

力対オートマトンモデルによるイ

ンタフェースの設計、マイクロコ

ンピュータによる端末交換制御等

いくつかの新しい試みを行なって

いる。

4、確率オートマトンによる問

題解決システムに関する研究

研究でリレーショナルデータベースに基づいた研究室文献システムの作成も行っている。

3、オートマトン理論による符号の研究と研究室計算機ネットワークの研究

デジタルデータ伝送に関する接続とその符号化オートマトンの構造との対応関係等、オートマトンとその符号化オートマトンペクトルとの距離、オートマトン間の距離、オートマトン間の距離、オートマ

ゲームやパズル等の解を試行錯誤探策により求める場合、解の探策効率を向上させる為には、問題の大局構造を把握して探策方向を決定することが有用であろう。このような事を行なう為の一つの手法として与えられた問題を確率オートマトンでモデル化し、状態空間をいくつかのイメージに分割し、各イメージ間の遷移確率を考慮して解の探策方向を決定する方

法についての研究を行なってい。さらに、LABOLINKに接続するカラーラフィックシステムの開発も行なつており、論理回路、オートマトン理論、問題解決システム理論等の研究に利用していきた。

(矢島脩三記)

## 洛友会東北支部 第11回総会報告

昭和51年6月  
第11回東北支部総会は6月12

日、仙台市の共済会館において開催されました。今回は折悪しく、

大谷泰之教授の退官記念行事と重なりましたので、教授の御出席が

頂けなかつたため、本部より山本茂雄幹事をお迎えし、支部よりは平井支部長をはじめ12名の御出席がありました。

支部長のご挨拶に続いて山本先生より洛友会本部、大学の近況、電気教室の諸先生方の御消息などお話し願い、後議事に入り会計報告、会員の移動等発表がありま

したので役員の改選期に当りました。今回も役員の改選が行なわれ、

支部長に平井寛一郎、副支部長に二村忠元の両氏に引き継ぎお願いす

ることとなり、総会は滞りなく終了致しました。

総会後、NHK秋田放送局長椿谷義明氏(S24年卒業)より「NHKの現状」についてお話を戴き、NHKの技術開発状況や番組にまつわる裏話など興味深いお話を、お聞かせ頂きました。引き続

ぎ懇親会に入り、本部の状況や昔の入試の話など、時のたつのも忘れる楽しいひとときを過ごしました。

(幹事三浦昭二記)

## 中国支部総会

6月26日(土) PM6時より高松市「紅羽」にて、第21回洛友会四国支部総会が、本部より、松

田、山本両先生、教室より卯本先生を迎えて行なわれた。

総会では、各先生より、諸先生方、教室等の近況を承り、久し振りに構の生い茂る学舎に思いを馳せたりした、総会に引き続き懇親会に移り、先生方を囲み、昔話を花を咲かせたり、輪になつて旧交を温めあつたりし、しばしば樂しい一時を過しPM9時散会した。出席者は四国各地から多忙のことろ時間をさして集まり総勢29名出席率40%となり盛会であった。

(山地記)

内藤正義  
三国文治郎(幹事)  
三浦昭二(々)  
井上茂(々)

本部から松田、岡田両先生ならびに山本幹事をお迎えし、中國地方各地に散在する百四十余名会員のうち、遠くは岡山、徳山からの参加を得て出席者、三十九名の盛会であつた。

真田支部長の挨拶に始まり、門野内幹事の司会で五十年度会計報告他一連の議事を満場一致で承認した後、松田、岡田両先生および山本幹事から教室、本部の近況をお聞きし滞りなく総会を終了した。

引続き別室で懇親会に入り、先生方をかこみ盃をかわし、添田先生のバイオリンに合わせて懐かしい歌の数々を合唱するなど夜の更けるのも忘れ愉快なひとときを過した。(門野内忠幸記)

鳥養利三郎先生を  
偲ぶ会について

本会々長鳥養先生には、去る九月廿四日ご急逝されました。取り敢えず冒頭の追悼文にてお知らせ致しますとともに、心から先生のご冥福をお祈り申し上げます。

なお先生のご葬儀は九月廿六日ご遺族によりとり行なわれましたが、時間の関係上遠方の会員の中にはご存じなかつた方も多かつたことと存します。

そこで、先生のご薰陶を受けた門下生その他大関係の有志が相談致し、左記により鳥養利三郎先生を偲ぶ会を催し、先生の偉大なご遺徳を偲ぶことになりました。

午後二時~四時

所

京都市川端通り一条下ル

(市バス加茂大橋下車南へ約四〇〇メートル)

また、鳥養先生追悼の臨時会報を明春に発行する予定で計画を進めておりますので、茲に併せてお知らせ申し上げます。

(副会長大谷記)

中国支部では七月二日、広島市天城本店で昭和五十一年度総会を開催した。

6月26日(土) PM6時より高松市「紅羽」にて、第21回洛友会四国支部総会が、本部より、松

田、山本両先生、教室より卯本先生を迎えて行なわれた。

(山地記)

内藤正義  
三国文治郎(幹事)  
三浦昭二(々)  
井上茂(々)

本部から松田、岡田両先生ならびに山本幹事をお迎えし、中國地方各地に散在する百四十余名会員のうち、遠くは岡山、徳山からの参加を得て出席者、三十九名の盛会であつた。

真田支部長の挨拶に始まり、門野内幹事の司会で五十年度会計報告他一連の議事を満場一致で承認した後、松田、岡田両先生および山本幹事から教室、本部の近況をお聞きし滞りなく総会を終了した。

引続き別室で懇親会に入り、先生方をかこみ盃をかわし、添田先生のバイオリンに合わせて懐かしい歌の数々を合唱するなど夜の更けるのも忘れ愉快なひとときを過した。(門野内忠幸記)

鳥養利三郎先生を  
偲ぶ会について

本会々長鳥養先生には、去る九月廿四日ご急逝されました。取り

敢えず冒頭の追悼文にてお知らせ

致しますとともに、心から先生の

ご冥福をお祈り申し上げます。

なお先生のご葬儀は九月廿六日

ご遺族によりとり行なわれましたが、

時間の関係上遠方の会員の中にはご存じなかつた方も多かつたことと存します。

そこで、先生のご薰陶を受けた

門下生その他大関係の有志が相

談致し、左記により鳥養利三郎先

生を偲ぶ会を催し、先生の偉大な

ご遺徳を偲ぶことになりました。

午後二時~四時

所

京都市川端通り一条下ル

(市バス加茂大橋下車南へ約四〇〇メートル)

また、鳥養先生追悼の臨時会報を明春に発行する予定で計画を進めておりますので、茲に併せてお知らせ申し上げます。

(副会長大谷記)